

## 特集「並列処理」の編集にあたって

佐 藤 三 久†

本特集には、JSPP'97 (Joint Symposium on Parallel Processing) で発表された論文および特集号論文として一般投稿された論文の中から、論文誌査読プロセスを経て採録された論文が収録されている。並列処理特集は、今年で10回を迎える「並列処理シンポジウム JSPP」を契機としてはじまり、例年、並列処理関連の最新の論文を発表する場となってきた。昨年の JSPP'97 は、1997年5月28日～30日に神戸市産業振興センタにて、実行委員長湯淺京都大学教授のもとで開催された。主催は、本学会の5研究会(計算機アーキテクチャ研究会、システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会、アルゴリズム研究会、プログラミング研究会、ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)、電子情報通信学会の2研究会(コンピュータシステム研究会、データ工学研究会)、および、日本ソフトウェア科学会のオブジェクト指向コンピューティング研究会であり、人工知能学会、日本応用数理学会の協賛を受けた。JSPP は、重要性を増しつつある並列処理関連分野の最新の論文を発表・討論する場として、中心的なシンポジウムとなっている。

前回の並列特集号論文誌より、シンポジウムで発表されたものだけでなく、より広く並列処理関連の論文を対象として、論文募集を行っている。今回も同様の方針で論文募集を呼びかけ、47件の投稿を得た。JSPP で発表された論文のほか、例年行われている並列処理関係の合同研究会であるサマワーショップ SWoPP で報告された研究なども見られた。

今回から、学会の論文誌査読制度の改革として新たに導入されたゲストエディタ制度ならびにメタレビューア制度により、査読、編集に当たった。これらの制度は、論文誌編集、査読手続きの改善、迅速化を目的に導入されたものである。編集委員には、JSPP'97 の湯淺実行委員長、上田プログラム委員長、主催研究会の主査、論文誌編集委員の方々にお願いした。メタレビューア制度に基づき、各編集委員にそれぞれ担当分野の論文を割り当て、メタレビューアになっていただいた。メタレビューアがそれぞれ2名ずつの査読者を選定し、並列査読を行った。JSPP で発表された論

文に関連する論文の場合にはできるだけ1人の査読者は JSPP での査読者に割り当てるなど、JSPP での評価と大きく食い違いがないように配慮した。メタレビューアは査読者による査読結果についての判断を行うもので、両名の査読者の判断が割れたときになどメタレビューアが査読内容を検討し、採否の判断する。査読結果に対する判断のほかに、査読や照会が遅れた場合の対処などをお願いした。今回の特集号では、照会期間を通常3カ月のところを、1カ月とした。ゲストエディタ制度、メタレビューア制度とも、適用されるのは本特集号がはじめてであり、多少の混乱があったものの、ほぼ4カ月で査読プロセスを終了することができた。その結果、29編の論文が採録となり、これらが収録の運びとなった。

本特集には、並列アルゴリズム、並列アーキテクチャ、並列処理言語、並列化コンパイラ、スケジューリング・負荷分散技法、並列 I/O システム、並列応用、と多岐にわたる論文が収録されている。依然として、アーキテクチャ関係の論文が多いものの、年々、ソフトウェア、応用の論文が増えてきている。従来の並列処理分野に加えて、並列分散コンピューティングなど新しい動きも出てきている。これらの論文はいずれも並列処理関連の最新の結果であり、読者の期待に十分答えるものと確信している。JSPP 発表の際に多くの研究者が本誌への投稿を意識するようになってきており、この分野の研究成果を学術論文文化することが一般に浸透してきたことは、昨今の学会論文誌改革の趣旨からも、喜ばしいことと考える。

最後に、ゲストエディタの大役の機会を与えてくださった、JSPP'97 湯淺実行委員長、上田プログラム委員長、論文誌編集委員会に感謝したい。特に、坂井論文誌編集委員には新制度についてご助言をいただいた。特集号編集委員の各氏にはメタレビューアとして多大なご苦勞をおかけした。なれない新制度で、困惑された方も多かったと想像する。また、関係各位には JSPP の査読に加えて、本特集号の査読にご協力をお願いした。この場を借りて、改めて感謝の意を表したい。本特集号が、並列処理研究の一層の発展に寄与することを願って結びとする。

なお、本特集はゲストエディタ制度により、以下の

† 新情報処理開発機構

特集編集委員会の責任で編集を行った。

【並列処理特集編集委員会】

● 委員長

佐藤三久（新情報処理開発機構，JSPP'97 幹事）

● 編集委員（順不同）

湯浅太一（京都大学，JSPP'97 実行委員長），上田和紀（早稲田大学，JSPP'97 プログラム委員長），中島浩（豊橋技術科学大学，計算機アーキテクチャ研究会），野寺隆（慶應義塾大学，ハイパフォーマンスコンピューティング研究会），石畑清（明

治大学，プログラミング研究会），浅野孝夫（中央大学，アルゴリズム研究会），石川裕（新情報処理開発機構，システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会），柴山悦哉（東京工業大学，ソフトウェア科学会オブジェクト指向コンピューティング研究会），宮田裕行（三菱電機，計算機アーキテクチャ研究会），坂井修一（東京大学，論文誌編集委員），本多弘樹（電気通信大学，論文誌編集委員），妹尾義樹（日本電気，論文誌編集委員）

---